

つちおと

1/2[±]

～気仙沼市の仮設商店街で新春イベントが行われました！～

○気仙沼市南町の仮設商店街、「南町紫市場」と「復興屋台村気仙沼横丁」で1月2日、新年のスタートを飾る新春イベントが開催されました。

「南町紫市場」では、正月恒例の「餅まき」や「無料ガラガラ抽選会」が行われました。抽選会は空クジなし、最低でも500円商品券が当たるなど人気の企画で、スタート前に長蛇の列が出来ました。各店舗では初売りセールが行われ、商店街内は買い物客でにぎわいました。同商店街では、昨年12月23日・27日にもオープン4周年感謝祭を行うなど、積極的にイベントを行っています。

「復興屋台村気仙沼横丁」でも、同日10時から焼き牡蠣と焼きズワイガニのお振る舞いを開始し、300人分用意していたのがすべて完了しました。お店側も初売りセールや特典くじ引き、大吉抽選会、中身が楽しみな「お年玉丼」、福袋の販売など、各店舗工夫を凝らした新年らしい企画を用意していました。

両仮設商店街とも、土地区画整理事業のかさ上げ工事に伴い今年10月以降に解体される予定です。紫市場は52店舗のうち、本設の共同店舗（内湾地区の災害公営住宅と一体化した共同店舗）に移るのは18店舗、残りは行先が未定となっています。気仙沼横丁については、19店舗のうち数店舗のみ行先が決まっている状況です。気仙沼市が昨年10月に事業用仮施設入居者を対象として行ったアンケートによれば、216事業者から回答があったうち約3割が移転できない可能性を示している状況です。

こういった先行き不透明な状況の中でも、残り期間精一杯商店街を盛り上げようと、今年4月には「気仙沼バル」という、市内5か所の仮設商店街が連携する飲み歩きイベントが予定されており、準備が進められています。南町紫商店街の副理事長坂本さんは「本設に移転できない店舗さん達がまだ多くいる状況。これからも気仙沼に足を運んで地元の商業を応援してください」とメッセージを送っています。



南町紫市場での餅まき



復興屋台村の新春イベント

◆新年あけまして、おめでとうございます。

年末年始においては、おだやかな気候にも恵まれ、ゆっくりと休養を取られたのではないのでしょうか。

これからまだまだ寒い時期が続きます。風邪、インフルエンザなどの対策につとめ、健康に留意され、この冬を乗り切ってください。

事業関係者の皆様においては、健康に留意され、引き続き、工事事故並びに交通事故等事故防止につとめて頂き、安全に事業を進めて頂くよう、よろしくお願い致します。

本年も、引き続き、関係者の皆様と共に職員一丸となり、一日も早い復興に向け取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。（樫）

～ 進む震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。防集事業による宅地造成が完成して自宅再建に移りつつある地区（1月時点）を紹介いたします。



たじり
・**田尻地区**：大島中心に位置し、西に気仙沼湾を望む。平成27年4月引き渡し6区画中6戸建築。



さいちかわらだいにまるよん
・**最知川原第2④地区**：東に気仙沼湾と大島を望む、最知川原第2地区は4工区で1地区にカウント、本4工区は平成27年12月引き渡し2区画中2戸建築。



ところざわ
・**所沢地区**：市誘導型防集（公募型）で市内西部丘陵地に位置し、平成27年7月引き渡し45区画中22戸建築。



くしょうしたんだ
・**九条四反田地区**：市誘導型防集（公募型）、東に四反田災害公営住宅を望む、平成27年12月引き渡し22区画中7戸建築。



さいちかわら
・**最知川原地区**：東に気仙沼湾と大島を望む、平成27年9月引き渡し6区画中3戸建築。

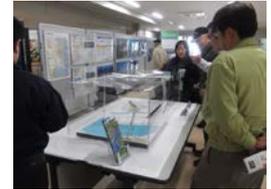


はじかみうちだ すぎした
・**波路上内田（杉の下）地区**：東に太平洋を望む、平成27年12月引き渡し5区画中1戸建築。

～ 三陸沿岸道路 気仙沼道路（仮称）気仙沼湾横断橋の工事状況をわかりやすく展示！ ～

三陸沿岸道路のうち、（仮）気仙沼IC（気仙沼市松崎高谷）から唐桑南IC（気仙沼市唐桑町只越）までの延長約9kmをつなぐ気仙沼道路の区間にある「（仮称）気仙沼湾横断橋」について、より多くの市民の皆様理解を深めてもらうため、事業の概要や工事進捗状況を紹介する「パネル」や「模型」の展示、「完成予想CG」の上映等の展示が、気仙沼市役所フンテン庁舎において、1月20日（水）～22日（金）の3日間行われました。

多くの来場があり、三陸道の関心の高さがうかがわれました。船からの視点で横断橋の下を航行するシミュレーション動画も放映され、完成後の三陸道もわかりやすく説明がされていました。



展示会場の様子

～ 南三陸町歌津 伊里前福幸商店街の移転！ ～

南三陸町歌津のにぎわいの拠点であった伊里前地区でも、震災からの復興が進んでいます。この地区には、伊里前福幸商店街という仮施設が設置され、被災事業者が営業を再開してきていましたが、復興事業によるかさ上げ工事に伴い、国道を挟んだ南側に一時移転することとなりました。

現在移転準備が着々と進められており、2月7日には移設オープン記念イベントが開催されます。

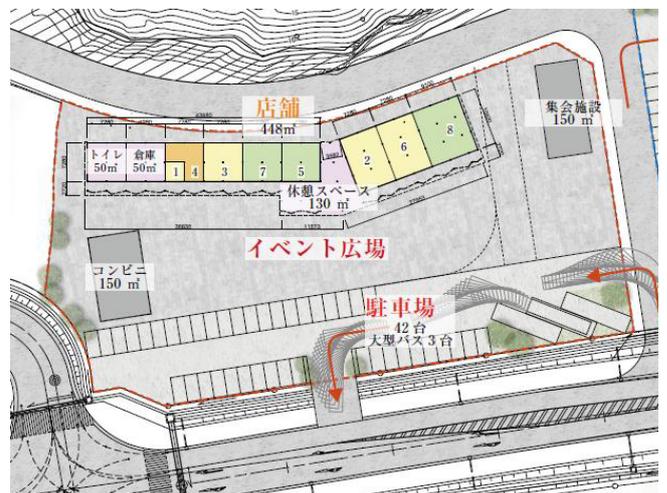


かさ上げ工事が進む伊里前地区



準備が進む伊里前復興商店街（移転中）

同商店街は、かさ上げ工事等完了後の平成29年3月、「まちなか再生計画」に基づき現在の商店街付近に本格的な商業施設のオープンを目指しています。



まちなか再生計画における商業施設内配置計画図（歌津地区）

南三陸町の「まちなか再生計画」（平成27年10月復興庁認定）では、商業施設等復興整備補助金を活用し、まちづくり会社（株式会社南三陸まちづくり未来）が志津川地区及び歌津地区それぞれに、商業施設を整備します。被災事業者が経営する食料品店、衣料品店、理美容店、飲食店などが入居する予定です。

歌津地区については、入居テナントは小売店、飲食店等8店舗（うち被災7店舗）を予定しており、住民のための購買機能、地域交流の中核となることが期待されます。

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【2月11日（木・祝）】新しい東北交流会 in 仙台 【仙台市】

復興支援の現場で「新たな挑戦」に取り組む70を超える団体が一堂に会し、ブース展示を行います。

ブースでは、もちろん試食や体験が可能。その他、これからの復興支援の在り方・課題について、パネルディスカッションも開かれます。

◇ 開催日時 2月11日（木・祝）13:00-17:45（予定）（要申込）

◇ 会場 仙台サンプラザホール・ホテル ◇ 問合・申込先 新しい東北官民連携推進協議会事務局 03-3591-8773

【2月13日（土）～14日（日）】マリンパル女川おさかな市場 あんこう祭り 【女川町】

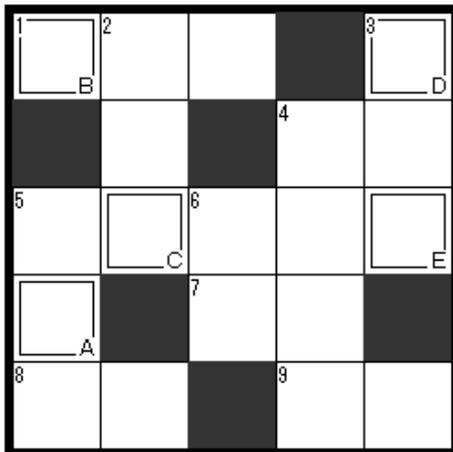
コラーゲンが豊富で、美肌効果バツグンの「あんこう」。女川港に水揚げされた「あんこう」を格安で販売いたします。

当日は、おさかな市場特製あんこう汁の振る舞い（無料）や、ほたて焼又は蒸がき（有料）の販売もあります。

◇ 開催日時 2月13日（土）・14日（日）10:00～15:00

◇ 会場 マリンパルおさかな市場（牡鹿郡女川町浦宿浜字篠浜山2番地）

◇ 問い合わせ先 マリンパル女川事業協同組合（0225-54-4714）



タテのカギ

【タテ2】妊娠初期の女性にあらわれる食欲不振・嘔吐の変化などの症状。

【タテ3】テレビの〇〇〇が悪い。

【タテ4】激しい風。〇〇〇〇警報発令。

【タテ5】容疑者を逮捕せよ。指名〇〇〇。

【タテ6】ほかのところ。別のところ。

ヨコのカギ

【ヨコ1】英語で、切断すること。髪を切る。

【ヨコ4】不採用。〇〇になる。

【ヨコ5】自分で作った料理。

【ヨコ7】おじちゃん。

【ヨコ8】地下水をくみ上げられる。

【ヨコ9】前はへび。後ハツジ。

【編集後記】

◆本年もよろしくお願ひいたします。今年も管内各種イベントに出かけていくなど、微力ながら応援して参ります。

（前号の方言パズルの回答）

問① ほくす。取りこむす。
ふ く す

問② 肩餅のここと。
ね ぶ か き

問③ 完全に干上がる。乾かし切ること。
ひ っ か ら び る

問④ 腹しくめえ込む。
し ば れ る

問⑤
ふ か ひ れ

被災地域農業復興総合支援事業（廻館地区）

全体 18.0ha の ほ場整備事業により水田（水稻）、畑（キャベツ、ネギ等）の効率的かつ安定的な農業経営を目指す。



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ↓
- ②宮城復興局
- ↓
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>